

単 元 名	用具を操作する運動(竹馬・一輪車)		配当時間	4 時間
単元の目標	(1) 順番やきまりを守って仲よく運動をしたり，運動をする場所や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。 (2) 競争や運動の仕方のめあてをもち，運動の楽しさを求めて活動を工夫することができる。 (3) 竹馬や一輪車に乗って，バランスをとりながら操作することができる。			
単元を構想する上での留意点	竹馬や一輪車は，バランス感覚を必要とする運動である。特に一輪車は乗れるようになるまでに時間がかかるので，段階を踏んであせらずじっくりと練習させ，一輪車に乗る感覚を体験させる。また，この学習をきっかけにして休み時間や家庭でも練習するよう意欲を高めていく。			
単元展開例				
準 備	竹馬，一輪車，一輪車練習台，ビデオ など			
学 習 活 動			留 意 事 項 な ど	
1 竹馬・一輪車のねらいと内容を理解し，学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 竹馬や一輪車をバランスよく乗ろう ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○竹馬や一輪車に乗る。 ○グループを編成し，役割を分担する。 2～4 竹馬や一輪車に乗る。 ○めあてを決める。 ○竹馬に乗る。 ・竹馬の練習段階 補助者がついて立つ→1人で台や手すりを利用して立つ→竹馬に乗って進む→方向を変える ・竹馬競争 ・竹馬鬼遊び など ○一輪車に乗る。 ・一輪車の練習段階 補助つき乗車（鉄棒等）→降車→補助つき乗車から半回転ずつ前進（ペダルを平行の状態から平行の状態へ）→1回転ずつ前進→連続で前進 →補助なしで前進 ・補助なし乗車 ・アイドリング ・後進 ・一輪車競争 など ○反省し，まとめをする。 ・めあて ・できばえ ・マナー など			・竹馬や一輪車に乗ることができるようにしたり，乗って楽しんだりすることを知らせる。 ・ビデオ等を利用し，練習の仕方を理解させる。 ・児童の実態に応じてグループ編成をする。 グループ編成の例 2人組 技能が異なる3人組 めあてが同じ3人組 など ・一輪車は乗れるようになるまでに時間がかかるので，段階を追って練習させる。 ・アイドリングとは，一輪車でペダルを半回転だけ前後に送りもどすことを繰り返すこと。 評協力し合って練習する活動を通して，「関心・意欲・態度」を評価する。 評できる技で楽しんだり，できそうな技に挑戦したりする活動を通して，「技能」を評価する。	

○第4時は、単元のまとめもする。

- ・児童の実態に応じて発表会や大会を行ってもよい。
- ・グループでの話し合いや自己評価などをさせる。